秀峰通信『啐啄』

No３３　　平成２２年１１月２２日（月）

祝！ハンドボール県高校新人大会　男女アベック優勝２連覇！

○１５日（月）に、都城市早水体育館で行なわれた決勝戦で、

（男子）小林秀峰　３２：　７　日向

（女子）小林秀峰　２６：１２　宮崎学園

の結果で勝ちました。今年も男女とも順調に成長してきている証拠です。決勝戦当日の朝は、女子選手は、保護者の方々と共に、学校に集合し、試合に向かいました。多くの方々のご支援・応援のおかげで優勝できたと思います。常に「感謝」の気持ちを忘れないでほしいと思います。１月の全国選抜県予選、九州選抜そして、全国選抜大会に向け、さらに競技力のアップを図っていくことでしょう。(試合の応援も独特で楽しいですよ。一度、試合を見に行ってください。)

☆今大会でも、男女共に試合中のマナーやユニフォームの着こなしの良さが光っていました。強くなればなる程、挨拶や礼儀作法・服装容儀など、いろんな面も他の模範となるということです。

新しい学校を作り上げていく喜びを感じながら、教育活動の充実を図ってください。

○１５日（月）午後、本校にて、教職員評価制度に基づく、校長の中間ミーティングが行なわれました。その際に、県教育委員会（２名来校）から、評価されたこと、今後取り組んでいってほしいことなどの話がありましたので、報告しておきます。今後の参考にしてください。

- 秀峰の名のごとく、高きを求めて努力し、頑張る生徒を育成する。・・・秀峰ブランドの確立
- 今取り組んでいることの工夫・改善を行なう。・・・教育は積み重ねである。授業改善
- 一つの機会を捉えて、いろいろなことに取り組む。（例）授業公開で地域と連携、生徒指導に活用
- 広報活動を充実させる。・・・情報広報部を活用（保護者・地域との連携、生徒募集）
- 生徒を引き付ける授業を行なう。・・・集中させる。いかに眠らせないか。温かく厳しい指導。
- 社会で伸びる生徒の育成を図る。・・・家庭学習の定着が、企業に入ってから頑張る姿勢を育成
- 責任ある仕事を行なっていくことで、自らを鍛え、資質の向上を図る。・・・切磋琢磨

やはり、実際に訪れて話を聞くと、見えてくるものがあった。・・・PTA 視察研修報告より

トヨタ自動車九州（株）北九州市

○１２日（金）・１３日（土）の２日間、保護者６名、教職員５名の計１１名が、視察研修を行ないました。トヨタでは、社員が誇りを持って働いている様子を見学したり、大学では、施設や学生サポート体制が充実していることを直接感じることができて、有意義な研修となったとの報告がありました。今回も保護者の方の参加が少なかっちょうです。来年度は、このような機会をもっと活用してほしいと思っています。生徒も就職・進学先を決める場合には、企業の見学会や専門学校・大学のオープンキャンパス等を利用して、一度は、希望進路先を訪問して、職場や学校環境などを肌で感じることも大切だと思います。

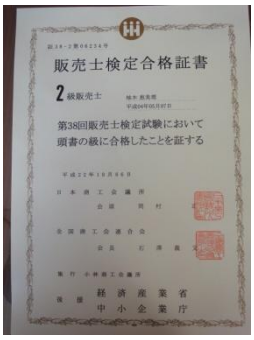
北九州大学

※熊本市にある崇城大学も視察しました。工業・芸術・情報・生物生命・薬学部のある大学です。

子どものよさを伸ばし、社会で生き抜く力を付けてあげることが、親や教育者の務めである。

○１６日（火）に、小林文化会館で開催された、プロゴルファー「石川　遼選手」の父、石川勝美氏チャリティー講演会に行ってきました。「親がこどもにできること」という演題で、９０分余りの終始、聴衆を引き付けた講演でした。その話を聴き、秀峰生のよさを大いに伸ばし、社会に出てからも成長し続けていくための教育をし、社会で生き抜く知恵を授けてあげることが、本校に勤務する者として、最も大切なことの一つだと実感しました。そのために、子どもたちをよく知っている保護者や地域の方々と、今まで以上に、しっかり連携していかなければと思いました。

２級販売士の検定試験に合格・・・「販売のプロ」日本商工会議所検定試験



２級販売士合格証書

〇経営情報科３年の柚木恵美理さんが、見事、本校第１号として、合格しました。２級販売士のレベルは、デパート、専門店、スーパーなどの小売業について、主として販売に関する専門的な知識を見につけ、ある程度の管理業務を遂行し、かつ部下を指導することができる。売場主任、部課長など中堅幹部クラスが対象。

だそうです。検定試験の内容は、急激かつ大きく変化している流通業界で、販売に必要な商品知識や販売技術、仕入れや在庫管理、マーケティングなど、より高度で専門的な知識を持つ人材の育成を目指したものとなっています。これからも、多くの生徒たちが、社会で活躍していくための様々な資格に挑戦していってほしいものです。

☆基本情報技術者国家試験に、経営情報科２年の黒木琴海さんが、本校第１号合格。（１８日）
（全国で３００名、本県で１３名が合格。ITパスポートの次のレベル。次は、応用情報に挑戦）

若い人たちが地域で作業などをし、姿を見せてくれるのが、何より嬉しいし、元気が出ます。

〇１６日（火）６限目の LHR の時間に、３年生が、地域奉仕作業を行ないました。学校近辺や小林駅周辺のゴミ拾いなどの奉仕作業を、地域の方々への日頃の感謝の気持ちを込めて行ないました。それをご覧になった年配の方がおっしゃった言葉です。かなりなゴミの量だったようですが、終わった後の気持ちは爽快だったと思います。ゴミを捨てる人がいなくなることが、みんなの願いです。

「いい子どもが育つ」都道府県総合ランキングで、宮崎県が１位！

〇文部科学省「平成１９年度全国学力・学習状況調査の小学校６年生の結果をもとに、「生活習慣」、「意志・人格」、「家庭」、「道徳・規範」など１１分野について、都道府県を評価（点数化）し、その平均で、ランク付けしたところ、宮崎県がトップになっています。（最下位は大阪府）以下にあげる設問で、宮崎県が全国トップとなっています。それ以外もほとんどが上位を占めています。

☆自分には良いところがあると思う。　☆将来の夢や希望を持っている。
☆家の人と平日一緒に夕食を食べている。　☆家の人と学校での出来事について話をする
☆学校のきまりを守っている。　☆近所の人に会った時に挨拶をしている
☆平日にテレビ、ビデオ、DVD を見る時間が２時間以内
☆外に出て遊んだり、運動・スポーツをして体を動かす
☆学校で好きな授業がある☆算数の勉強が好き☆学校の授業以外に平日１時間以上勉強する

１７日（水）夜、野尻地区の PTA 交流会がありました。そのとき、保護者の方から「秀峰には宿題はないのですか。家でほとんど勉強しません。」という話がありました。実際、昨年度の教育課題アンケート結果を見ても、宅習時間１時間未満が約９割となっています。（その内、ほとんどしないが５割以上）宮崎県の小学６年生ができることが、本校生にはできていないという状況です。家庭での学習の習慣は、社会に出てからの生き抜く力にもつながるものです。いかに家庭で勉強させるかの工夫・改善が早急に望まれるのではないでしょうか。そのことが、授業への取組にもつながるはずです。

国家公務員合格で、秀峰一期生が大健闘！・・・１９日（金）発表

皇帝ダリアも咲いています

〇全国からの受験者の中から、わずか１２名しか合格しなかった部署に、本校から４名が合格しました。４/１２という快挙です。また、別の部門では１３９９名が受験し、１０名の合格者の一人で、しかも１名しか配属されなかった部署に合格した生徒もいます。今回は、工業科の生徒が６名合格しました。昨年度わずか１名だったことを考えると、いかに秀峰生が優れていて、頑張っているかということを実証したということです。商業系の公務員受験のノウハウを工業系に導入した結果とも言えると思います。「商業と工業のコラボ」です。

これこそ、総合制専門高校だからこそできる指導です。合格した生徒たちを祝福するとともに、彼らが今後、社会に出るまでの期間を「さらに、自分に磨きをかける」期間となるよう、他の生徒をリードして、頑張っていくことを期待しています。１・２年生もこのような先輩に続いてほしいものです。